

令和3年度第2回浜松市博物館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和3年12月24日（金）午前10時から正午まで
- 2 開催場所 浜松市博物館2階会議室
- 3 出席状況
（出席委員） 笹原恵会長 市川真吾委員 竹内誠人委員 田中裕二委員 二本松康宏委員
廣瀬憲雄委員 安池真美委員 渡部いづみ委員
（事務局） 鈴木一有文化財課長 宮木広由文化財課長補佐 久野正博専門監
内山陽一郎博物館運営グループ長 鈴木京太郎博物館学芸グループ長
- 4 傍聴者 0名
- 5 議事内容 (1) 令和2年度博物館事業評価について
(2) 史跡 蜷塚遺跡保存活用計画について
(3) 浜松市博物館リニューアル事業について
- 6 会議録作成者 博物館運営グループ 内山陽一郎
- 7 記録の方法 発言者の要点記録（録音の有無：無）
- 8 配布資料 (1) 次第
(2) 令和2年度博物館事業評価
(3) 史跡 蜷塚遺跡保存活用計画について
(4) 浜松市博物館リニューアル事業について
(5) 令和3年度第2回浜松市広聴モニターアンケート調査結果の概要
- 9 会議記録 次頁以降のとおり

1 開会

2 あいさつ（鈴木課長）

3 議事

笹原会長 会議の成立要件であるが、8名全員が出席している。浜松市博物館条例第21条第2項の開催要件を満たしていることを報告する。署名人は名簿順にお願いしたいと思うので、本日は竹内委員にお願いしたい。次に、会議の公開について、今回は非公開にする案件がないので、本日の会議については、議事のすべてを公開することによろしいか。

（異議なし）

（1）令和2年度博物館事業評価について

事務局 資料に基づき説明

笹原会長 事務局から説明のあった議題の「令和2年度博物館事業評価」について何かご意見・ご質問等はあるか。

渡部委員 評価項目の決め方はどのようになっているか。

事務局 事業評価は昨年度から本格的に開始した。評価項目については、前回の委員と博物館の職員が協議して決めた。評価項目や目標値については柔軟に対応するのでご意見があれば伺いたい。

市川委員 戦略指標3の評価基準が空白になっている箇所があるが。

事務局 評価項目をそのまま判断基準としている。

市川委員 そのように記載すれば良いのでは。もう一点、戦略指標3の教材貸出件数が事業報告の資料の56件と異なるが、どういうことか。

事務局 移動博物館Bのキット貸出が56件となっていて、単体での教材貸出を含めると101件である。

廣瀬委員 戦略指標5の分析で記載している「教育委員会の通知」の意味はどういうことか。

事務局 教員の業務負担軽減のため、学校を通じたチラシ配布等を見直すようにということである。今後どのようにして家庭に届けるかが課題である。

笹原会長 博物館事業のチラシ配布は、教育上必要なことだと思う。

事務局 教育委員会が紙媒体の配布の見直しを各課に依頼している。チラシ配布については教育に資するものであることを協議会の意見として教育委員会に伝えたい。

田中委員 目標値の根拠を示してほしい。そうでないと判断ができない。例えば、収蔵品の電子データについてはデータが何件あってそのうち公開件数は何件というような形で示してほしい。

事務局 収蔵品の電子データの公開については、公開しようとするデータが何件あって、そのうち何件公開したかという長期的な視点で示す必要があると考えている。

二本松委員 北遠の分館は老朽化が進んで厳しい状況にあるが、今後はどのように運営していくのか。

事務局 分館については、維持管理費用の点及び収蔵資料の整理の点から今後の在り方を検討する。

竹内委員 チラシ配布の話は学校の方から聞いている。教育上重要なことは継続してやってほしい。

笹原会長 チラシ配布による博物館事業への参加の効果は大きい。

安池委員 職員が少ない中で、事業を進めるにあたりボランティアにどれだけ頼れるか心配である。

事務局 博物館の従来の業務について検証する必要がある。事業評価を使って分析し課題を整理したい。

笹原会長 協議会での事業評価は自己評価の拡大版である。背後の計画を踏まえた上で、意味のある指標を設定することが大事である。例えば、SNSの発信は週に何回という指標の設定の仕方もある。配布資料の判断基準はシンプルなものであるが、例えば5段階で評価する等の外部評価を想定したものに見直しができないか。

事務局 博物館がより良い方向に向かうような評価設定にする必要がある。協議会で活発に意見が出るような評価案を作るようにしたい。職員と協議会での自浄作用で評価を行い、まずは、第3回協議会に向けての情報の出し方を工夫する。外部評価に出した方が良いということであれば、外部評価を行うか検討すべきと考える。

(2) 史跡 蜷塚遺跡保存活用計画について

事務局 資料に基づき説明

笹原会長 事務局から説明のあった議題の「史跡 蜷塚遺跡保存活用計画について」について何かご意見・ご質問等はあるか。

(意見・質問なし)

(3) 浜松市博物館リニューアル事業について

事務局 資料に基づき説明

笹原会長 事務局から説明のあった議題の「博物館リニューアル事業について」について何かご意見・ご質問等はあるか。

渡部委員 最新の展示手法とはどのようなものか。

事務局 VRやプロジェクションマッピングがある。デジタル的なものだけではなく、展示物がどうやって使われたかが分かるような模型等の導入がリニューアルした博物館で行われている。また、リニューアルについては、博物館より美術館のほうが成功している例が多い。入館者が展示から何らかの気付きを得て帰ってほしい。一方、人材育成も重要である。ポップアップの作成等で学芸員の想いを伝えるようにしていきたい。

笹原会長 浜松城天守閣にプロジェクションマッピングがある。

事務局 浜松城天守閣は公園管理事務所の所管だが、文化財課がリニューアルに協力している。プロジェクションマッピングにより、浜松城 500 年の歴史が分かるようにしている。そのような例を参考にして、博物館のリニューアルを進めていきたい。

田中委員 VR等を導入している博物館は多数あるが、5年経過すると故障が起きやすくなり、10年経過すると内容が古くなってしまふ。中長期の視点でメンテナンス計画を立てることが重要である。

事務局 基本計画に最新機器等の維持管理計画を明示する。最も大事なものはコレクションである。博物館にはたくさんのコレクションがあるが、市民にうまく伝わっていない。所蔵資料について研究を行い、市民に伝わるような情報を発信していくことが重要である。

二本松委員 学芸員や他の職員が他館への視察を行っているか。

事務局 視察については、学芸員も他の職員も行っている。今年度は2～3箇所視察を予定している。令和4年度は予算が決まっていないのではっきりとは言えない。

二本松委員 公募市民の視察を検討することはできるか。

事務局 その点は考えていなかった。制度上可能かどうかを含めて今後検討する。

竹内委員 アンケートでつまらなかったという意見については、関心があることの裏返しでもある。また、駐車場の位置が分かりにくい。情報不足ではないか。

事務局 案内看板については不足している部分があるので、今後整備を検討したい。

渡部委員 学生等に聞いてみると、「遺跡のことを中心に展示しているかと思っていたがそうでもない」「美術館と比べて魅力がない」という意見が出る。また、ギャラリートーク等の行事についても「知らなかった」という声を聞く。ホームページに掲載している情報がうまく伝わっていないと思う。

事務局 情報発信については、動画の作成・発信等が得意な方を巻き込んで文化財サポーター的な役割を担うようにしたいと考えている。

二本松委員 前回の特別展の動画再生回数が非常に少ない。ユーチューバーを活用することで再生回数が劇的に多くなると思う。

笹原会長 浜松まつり会館では観光ボランティアが活躍しているが、博物館において展示における博物館ボランティアの活動はどうなっているか。

事務局 小学校が団体で来館した時は、博物館ボランティアの方も説明を行っている。土日の一般向けの説明については今後運用を検討したい。

<閉会>

笹原会長 以上をもって、第2回浜松市博物館協議会を終了する。